

都道府県ランキング

順位	都道府県名	魅力度
1	北海道	68.9
2	京都府	54.6
3	沖縄県	53.3
4	東京都	44.9
5	奈良県	35.8
6	神奈川県	32.5
7	大阪府	32.1
8	兵庫県	25.3
9	福岡県	24.9
10	長崎県	24.4
11	長野県	23.6
12	静岡県	22.7
13	宮崎県	21.4
14	千葉県	18.8
15	青森県	17.9
16	宮城県	17.5
17	石川県	17.4
18	鹿児島県	17.0
19	愛知県	16.4
20	秋田県	15.6
21	新潟県	15.5
22	熊本県	14.6
23	和歌山県	13.9
24	山形県	13.7
25	大分県	13.3
26	高知県	13.1
27	広島県	12.9
28	富山県	12.6
29	岩手県	12.5
30	岡山県	12.4
31	香川県	12.0
31	岐阜県	12.0
31	山梨県	12.0
34	三重県	11.4
35	福井県	10.7
36	島根県	10.5
37	愛媛県	10.3
38	福島県	9.7
39	山口県	9.5
40	栃木県	9.1
41	徳島県	9.0
42	滋賀県	8.7
43	埼玉県	8.1
44	鳥取県	7.7
45	群馬県	7.4
46	佐賀県	7.0
47	茨城県	6.6

都道府県の昨年のデータはなし。
市区町村ランキングは上位100位までを表記。

市区町村ランキング(100位まで)

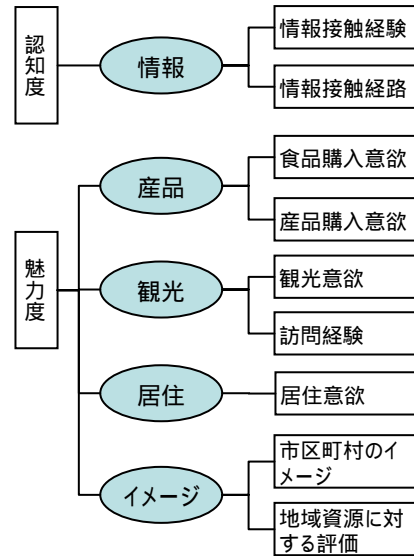
順位	市区町村名	魅力度
1 (2)	函館市	58.8
2 (1)	札幌市	56.4
3 (3)	京都市	56.3
4 (4)	横浜市	51.9
5 (6)	神戸市	50.9
6 (5)	小樽市	50.5
7 (8)	鎌倉市	48.0
8 (7)	富良野市	47.6
9 (10)	金沢市	41.3
10 (9)	軽井沢町	40.9
11 (11)	屋久島町	40.5
12 (12)	那覇市	40.2
13 (14)	長崎市	37.0
14 (13)	仙台市	36.4
15 (23)	名古屋市	36.0
16 (17)	奈良市	35.3
17 (18)	石垣市	34.1
18 (32)	箱根町	33.8
19 (22)	沖縄市	33.6
20 (24)	倉敷市	33.4
21 (26)	熱海市	33.2
21 (20)	伊豆市	33.2
23 (25)	浦安市	32.8
24 (19)	日光市	32.4
24 (34)	別府市	32.4
26 (20)	旭川市	32.2
27 (15)	宮古島市	32.1
28 (37)	渋谷区	31.9
29 (34)	新宿区	31.5
30 (27)	大阪市	31.2
31 (16)	福岡市	31.1
32 (29)	萩市	31.0
33 (31)	釧路市	30.7
34 (29)	姫路市	29.6
35 (39)	伊勢市	29.2
36 (41)	尾道市	28.8
37 (43)	横須賀市	28.3
38 (47)	鹿児島市	27.1
39 (28)	登別市	26.8
40 (34)	茅ヶ崎市	26.5
41 (43)	芦屋市	26.4
41 (39)	出雲市	26.4
43 (64)	松本市	26.2
44 (55)	宝塚市	25.5
45 (33)	宇治市	25.0
46 (70)	稚内市	24.9
47 (38)	高山市	24.8
48 (50)	飛騨市	24.7
49 (79)	佐世保市	24.6
50 (53)	帯広市	24.5

調査概要

調査名称
地域ブランド調査2009
調査期間
2009年7月3日～9日
調査方法
インターネット調査
回答者
日本全国を6地域に分けて回収
各年代別(20代～60代)にほぼ同数ずつ回収
有効回収数
32,124人
調査対象
47都道府県、全国1000市区町村(783市+東京23区+194町村)の計1047自治体
調査主体
株式会社ブランド総合研究所
調査項目
各市区町村に対する評価
(魅力度、認知度、情報接触度、接触経路)
観光・居住・産品に対する評価
(市区町村の観光意欲度、訪問目的、居住意欲度、産品購入意欲度)
イメージ・地域資源に対する評価
(市区町村のイメージ、地域資源)
回答者のライフスタイル
回答者の属性 など

指標と設問の構成

本調査は地域のブランド力を消費者視点で測定する仕組みとなっています。
具体的には、認知度、魅力度という2つの総合指標を設定。それぞれを構成する要素として、情報、産品、観光、居住、イメージの5つを設定。これらを「食品購入意欲」など計9つの要素から消費者が各市区町村ごとに評価します。



全国3万人による自治体の通信簿

第4回

地域ブランド調査2009

株式会社ブランド総合研究所

「地域ブランド調査2009」は、全国3万人による自治体のブランド力を徹底評価する日本最大規模の調査として毎年実施されているもの。4回目の今年も、国内1000市区町村に加えて、新たに47都道府県も対象としました。いわゆる国民視点による「自治体の通信簿」なのです。

今年7月にインターネットを通じて、全国の消費者3万2124人から回答を集めて実施したもので、魅力度、認知度、情報接触度、各市区町村のイメージ(「歴史・文化のまち」など13項目)、情報経路別の接触度(「旅番組」など15項目)、観光意欲度、居住意欲度、産品の購入意欲度、地域資源の評価(「街並みや魅力的な建造物がある」など15項目)など調査項目は全63項目にも及びます。

地域のブランド力について国民の目線で徹底的に浮き彫りにするこの調査。4年目となる今年の最大の特徴は、都道府県の評価を新たに加えたこと。その結果、各地域のイメージやブランドの構造が浮き彫りになりました。

結果速報

函館市が初の1位に！ 最も魅力的な市町村
都道府県は北海道がダントツ1位



地域ブランド調査2009の調査結果で、全国で最も魅力的な市町村は函館市で、昨年2位から初の1位となりました。

2位は昨年まで3年連続1位だった札幌市。3位は京都市、4位は横浜市といずれも昨年と同じ順位で、5位は神戸市となりました。町村の中では、軽井沢町が40.9点で10位。続いて屋久島町が40.5点で11位となりました。

また、今回初めて47都道府県に対する評価も行いましたが、その結果は1位が北海道、2位は京都府、3位は沖縄県となりました。逆に最下位は茨城県。

前回までの調査結果は「魅力度ランキング」として全国各地のテレビで報道されるとともに、全国新聞、全47都道府県の地方紙、雑誌、ネットニュースなどで報道されたほか、さまざまな分析報道にも活用されています。

ランキング結果を最終ページに掲載

魅力度ランキング【都道府県】

順位	都道府県名	魅力度
1	北海道	68.9
2	京都府	54.6
3	沖縄県	53.3
4	東京都	44.9
5	奈良県	35.8
6	神奈川県	32.5
7	大阪府	32.1
8	兵庫県	25.3
9	福岡県	24.9
10	長崎県	24.4

魅力度ランキング【市区町村】

順位	市区町村名	都道府県	魅力度
1 (2)	函館市	北海道	58.8
2 (1)	札幌市	北海道	56.4
3 (3)	京都市	京都	56.3
4 (4)	横浜市	神奈川	51.9
5 (6)	神戸市	兵庫	50.9
6 (5)	小樽市	北海道	50.5
7 (8)	鎌倉市	神奈川	48.0
8 (7)	富良野市	北海道	47.6
9 (10)	金沢市	石川	41.3
10 (9)	軽井沢町	長野	40.9

()内は2008年調査での順位

詳しくは次ページ参照

お問合せ

株式会社ブランド総合研究所
東京都港区虎ノ門1-8-5 (〒105-0001)
TEL:03-3539-3011 FAX:03-3539-3013
E-mail: survey2009@tiiki.jp
http://tiiki.jp/

会社概要(株式会社ブランド総合研究所)

代表者 : 田中章雄(代表取締役社長)
設立 : 2005年11月
資本金 : 2500万円
主な事業内容 : 地域や企業の調査およびコンサルティング
ホームページ : http://tiiki.jp/

2009年9月発行

地域ブランド調査の特徴

調査の特徴

- ✓ 低コスト**
独自に調査するより圧倒的にコスト削減
- ✓ 豊富なデータ**
63項目、4年分という圧倒的な情報量
- ✓ 比較可能**
他自治体との比較、経年や属性分析も
- ✓ 戦略へ**
予算に合わせて報告書から戦略まで

独自に調査するより、調査費用のコスト削減に

戦略をたてるにあたり正確な調査データは不可欠です。特に、国民からどのように評価されているのかは非常に重要です。「地域ブランド調査」を利用すれば、独自に調査する費用よりはるかに低コストで、しかも短期間でデータを入手できます。

63項目の豊富なデータ

魅力度、認知度、情報接触度、観光意欲度、居住意欲度、産品購入意欲度、地域資源の評価、まちのイメージなど自治体の評価に不可欠な全63項目という、圧倒的な量のデータをご用意しました。

他自治体との比較、経年比較、属性分析など分析可能

調査分析には不可欠なのが、他自治体との比較や、過去の結果との経年比較、全1047自治体間での比較、回答者属性による分析などが可能ですので、さまざまな分析に活用できます。

予算に合わせて4種類のアウトプット。戦略へのサポート

調査結果は、活用するスタイルと予算に合わせて、ハンドブック、総合報告書、個別報告書、完全パックの4種類からお選びいただけます(右頁参照)。また、戦略立案や特別分析レポート作成、セミナーや研修会の実施などの作成もお受けします。

地域ブランド調査を活用したメニュー

ブランドセミナー(研修会)



ブランド戦略室のスタッフまたは自治体の幹部や関係者、事業者などを対象に、地域ブランド調査の結果報告会をセミナー形式で実施します。情報の共有と意識喚起のためにお役立てください。セミナー後は資料とデータを各部署で活用していただきます。

講演時間 90分~120分(質疑応答含む)
 納品物 レジューメ+総合報告書+個別報告書
 主な内容 調査結果概要、属性分析、課題など
 講演者 弊社スタッフ
 費用 198,000円~
 講演・発表者によって費用が異なります。交通費等は実費請求となります。

特別分析レポート

地域ブランド調査の結果を、弊社が専門的な見地から詳細に分析し、自治体のブランド力の現状と、今後のブランド戦略に向けた課題の抽出などを行い、その結果をレポートとして提出します。

ページ数 30ページ~
 納品物 特別分析レポート
 作成期間 ご注文より約1ヶ月
 費用 300,000円~



総合報告書・個別報告書、結果報告会等の費用は別途必要です

戦略立案・実施

地域ブランド調査の結果から明らかになった課題を解決するため、実際の観光活性化や、特産品の開発、まちづくりなどに至る「町のブランド戦略計画書」を策定。さらに各分野ごとに部会を設置し、具体的なアクションを検討します。弊社スタッフと自治体や関連団体、住民等が加わったワーキンググループを作り、そこが主体となり戦略を作り上げていく方法を主とします。

事業期間 3~6ヶ月
 費用 要相談

ニーズと予算にあわせて4つの報告書

* 価格は税込

▶ ランキングと自治体の概要を知るなら



ハンドブック

主要8項目のランキングと、対象となった全自治体ごとにその結果をコンパクトにまとめたもの。デスクサイドに保管し、参考にするのに便利です。

冊子形態(A5判 約200頁)

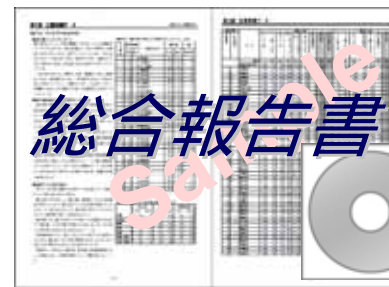
認知度、情報接触度、魅力度、観光意欲度、居住意欲度、産品購入意欲度(総合、食品、食品以外)の主要8項目についてのデータを掲載。

イメージデータ等は掲載していません



3,800円*

▶ 調査自治体の全データの活用なら



総合報告書

冊子形態(A4約200頁)

全調査結果を一覧表形式でまとめ、総合的な分析を加えたもの。

・1,000市区町村+47都道府県別に全調査項目の結果

・63項目毎のランキング(市区町村では上位のみ)

・結果概要と簡単な分析

データCD

・冊子内容のPDFと、EXCEL上で全項目で並び替えが出来るようなランキング表を収録(レポート等に加工・再利用も可能)



78,000円*

▶ 個別自治体の詳細な結果は



個別報告書

出力シート納品(A4約10頁/ファイリング)

ご希望市区町村(1地区)の調査結果(過去3年分を含め掲載)と、属性別クロス分析結果、自由意見をまとめたもの。

過去の調査対象ではない場合、該当する年度データは未収録となっております。

複数の自治体を希望される場合は、1自治体あたり20,000円追加となります。



48,000円*

▶ 総合報告書 + 個別報告書だと特別価格

98,000円*

▶ 全データを網羅した完全版



完全パック

総合報告書(1冊)

総合報告書の内容に準じる。

データCD

総合報告書のCDの内容に加え、調査対象の1,047地域の自治体の個別報告書のデータを収録、簡単な操作でPC画面上で表示または印刷が可能。また、データの加工等もできます。



498,000円*

お申し込み
お問い合わせ

03-3539-3011 or survey2009@tiiki.jp